

# 可憐な花姿で、初恋草と呼ばれている。

< 植物名 >

レシュノールティア(レケナウルティア)

黄

水やり

土の表面が乾いたら水やり。やや乾燥気味に管理する。

置き場所

春から秋にかけては、室内外の日当たりの良い場所に、冬は室内の日当たりの良い場所に。

用土肥料

排水の良い土を好む。チツソとリンを含む土壌が理想。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

7~10 あれば冬越し可能、室内の日当たりの良い場所に。

使い方 鉢植え

学名 Leschenaultia

英名

属名 レシュノールティア

科名 クサトバラ

性状(分類) 多年草(フォルモサ)・常緑低木(ピロバ)

原産地 オーストラリア

花の色 黄

開花期 春

購入時期

草丈 50 cm

ID 19

季節 春

JFコード 51205



冬越しと置き場所

日当たりと、排水の良い場所を好む。耐寒性が強く、7~10 あれば冬越しする。春から秋にかけては、室内外の日当たりの良い場所に、冬の間は室内の日当たりの良い場所に置く。

その他の解説

排水の良い土を好む。チツソとリンを含む土壌が理想。

特徴1

土の表面が乾いたら水やり。やや乾燥気味に管理する。

特徴2

西オーストラリア原産で、ブッシュの中で50cmほどに生育したり、岩をつたって育つ。葉は針状で、花は赤、橙、黄、黄白色など各色がある。初恋草という意味ありげな名前は、その可憐な花姿から日本で付けられたもの。(以上フォルモサ)。ピロバという種類は、同じく西オーストラリアの原産だが主に開けたユーカリ林に生育している。葉は線形で、花弁は魚尾形。花色は明るい青または白色。